

熊本県立菊池少年自然の家 指定管理者 平成28年度 管理運営評価票

所管部課：教育庁教育総務局 社会教育課

I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとづくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
施設概要	1 所在 菊池市原4885番地5 2 施設 宿泊棟、研修室、体育室、キャンプ場等 3 目的 本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を生かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。
指定管理料	300,255,186円（4施設合計、利用料金制）

II 管理運営の評価

1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	26,856人	29,772人	前年度実績31,337人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

【点検・調査結果及び評価】

熊本地震後、4月から5月にかけて一般利用を制限し避難者や救援団体を受け入れたこと、夏季利用団体のキャンセルが相次いだこと等から前半の利用者は大きく減じたが、9月以降熊本市の学校利用が多くあり、研修者延べ数で前年度比95%を確保、目標値を達成できた。
 県教育委員会としては特に利用者の安全確保を重視して指定管理者に指導を行ってきたところであり、今後も引き続き活動中に重大事故が発生しないよう取り組んでいただきたい。

2 管理業務実施状況

① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年実施	
保安・警備	宿直業務	通年実施	
	給湯運転監視	通年実施	
保守点検	電気保安点検	年6回実施	専門業者に委託して実施
	身障者用昇降機点検	年1回実施	専門業者に委託して実施
	消防設備点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	自家発電設備点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	害虫駆除	年1回実施	専門業者に委託して実施
	貯水槽清掃	年1回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽点検	年24回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽清掃	年1回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽法定検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	水質検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	塩素滅菌設備点検	月1回実施	専門業者に委託して実施
	防犯カメラ監視	月1回実施	専門業者に委託して実施
	水質検査（残留塩素）	週1回実施	
	建築設備点検	年1回実施	

【点検・調査結果及び評価】

施設設備の清掃、保安・警備及び点検等については、仕様書のとおり専門業者が実施するなど回数・内容ともに水準を満たしており良好である。

② 運営事業実績
 【主な事業・イベント】

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
菊少農っ子プロジェクト. 1 ～どろんこ田植えの巻～	6月26日	25人	農業体験を通して、生産活動のすばらしさや、命の大切さを実感し、農業への関心を高める。
幼稚園・保育所との連携事業 ～自然のど真ん中で生き生きと～	7月20日～1月13日 年6回実施	532人	自然体験活動を通して、幼児期における人間形成の基礎を培う。幼稚園・保育所と連携して指導法を開発する。
夏だ！川だ！サンサンサマー	7月24日	50人	川遊びを通じて、子どもたちの交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
夏だ！川だ！サンサンサマー 2	7月30日	46人	川遊びを通じて、子どもたちの交流を深めながら、生きる力を身につけるとともに、自然に親しみ豊かな心を育てる。
熊本県立青少年の家合同企画事業 菊池川アドベンチャー「K」キャンプ	8月6日～13日	24人	8日間のキャンプを乗り越え満足感や達成感を味わうとともに、川の姿や特性を学び防災の意識を高める。
菊少農っ子プロジェクト. 2 ～農業体験の巻～	8月27日～28日	19人	農業体験を通して、生産活動のすばらしさや、命の大切さを実感し、農業への関心を高める。
集団宿泊教室における学校と社会教育施設の連携事業	9月8日～9日	104人	集団宿泊教室の泊数の違いによる教育効果、登山や川の活動等における教育効果を調査する。
迫水地区地引網体験	9月11日	79人	山間地に住む子どもたちに、海の生き物に触れる機会を与えると同時に、地域間の交流を図る。
スマイルキャンプ	9月17日～19日	10人	キャンプや野外炊飯、川歩き等の体験活動とおして達成感や満足感を味わい、子ども達の自主性を育てる。
集団宿泊教室における学校と社会教育施設の連携事業 2	9月28日～30日	56人	集団宿泊教室の泊数の違いによる教育効果、登山や川の活動等における教育効果を調査する。
親子deキャンプ	10月1日～2日	48人	自然体験活動とおして、季節感を味わい、親子のふれあいを深めるとともに、他家族との交流を図る。
リフレッシュ！オータムキャンプ	10月8日～9日	49人	熊本地震の被害が大きかった地域の子供達に体験活動を提供し、心身のリフレッシュと友達との絆を深める機会とする。
菊少農っ子プロジェクト. 4 ～動物ふれあい体験の巻～	12月23日	22人	農業体験を通して、生産活動のすばらしさや、命の大切さを実感し、農業への関心を高める。
菊少農っ子プロジェクト. 5 ～いもいも大作戦！の巻～	1月21日～22日	18人	農業体験を通して、生産活動のすばらしさや、命の大切さを実感し、農業への関心を高める。
水迫地区新春どんどこや	1月22日	33人	地域交流事業の一環として、水迫地区との共催事業を行い、過疎地域と都市地域の交流を図る。
森の通学合宿 Aグループ	1月28日 ～2月1日	20人	子どもは共同生活体験を通じ自律心を育み、親は“子離れ”を体験し家庭教育を見直す機会とする。
森の通学合宿 Bグループ	2月4日～8日	20人	子どもは共同生活体験を通じ自律心を育み、親は“子離れ”を体験し家庭教育を見直す機会とする。
森の通学合宿 Cグループ	2月11日～15日	12人	子どもは共同生活体験を通じ自律心を育み、親は“子離れ”を体験し家庭教育を見直す機会とする。
森の通学合宿 Dグループ	2月18日～22日	22人	子どもは共同生活体験を通じ自律心を育み、親は“子離れ”を体験し家庭教育を見直す機会とする。
菊池わいふのひなまつりグラウンドゴルフ大会	3月3日	86人	参加者同士の交流を深めるとともに、大会をおして施設をより身近に感じてもらい、利用拡大に繋げる。

【点検・調査結果及び評価】

企画事業数は減じたものの、熊本地震で被害の大きかった益城町の小学生を招待した「リフレッシュキャンプ」の実施や、閑散期を活用した「森の通学合宿」を菊池市内の全小学校を対象に実施するなど新たな試みにも果敢に取り組んでおり、参加者実数が前年度比112%となったことは評価できる。今後、併せて行っている I K R 調査の結果を、企画や広報等に活かす試みについても期待したい。

3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	356 日	355 日	
	宿泊可能日数	354 日	351 日	
	利用日数	242 日	248 日	97.6 %
	利用率	68.0 %	70 %	97.4 %
	利用者実数	7,556 人	8,226 人	91.9 %
	利用者延べ数	16,055 人	17,776 人	90.3 %
キャンプ場	開館日数	356 日	355 日	
	宿泊可能日数	354 日	351 日	
	利用日数	18 日	16 日	112.5 %
	利用率	5.1 %	4.5 %	112.2 %
	利用者実数	352 人	341 人	103.2 %
	利用者延べ数	857 人	825 人	103.9 %
出前講座等	利用者実数	12,860 人	12,736 人	101.0 %

【点検・調査結果及び評価】

本館の利用については、熊本地震に伴う避難者や救援団体の受入れと、それに伴う学校団体の利用調整など、想定外の事態が発生したものの、利用者延べ数の減少は10%に留まっており、職員の努力が窺われる。出前講座については、これまで利用のなかった防災教室が5回開催されるなど、ニーズを踏まえた取組みが成果（利用者実数）に繋がっている点は評価できる。

4 管理経費の収支状況

① 収入			
項目	内 訳	金額(円)	
利用料金収入	本館	一般1,900人、高校生以下5,279人、就学前の者382人	2,664,540円
	キャンプ場	一般100人、高校生以下373人、就学前の者2人	68,300円
	宿泊を伴わない利用	一般517人、高校生以下564人、就学前の者299人	79,900円
指定管理料	※指定管理者による本施設への振り分け	59,932,000円	
企画事業等収入	20事業	1,585,715円	
その他活動収入(出前講座等)	出前講座193団体	1,142,570円	
プログラム活動費関係		1,114,100円	
食事代		12,069,320円	
シーツ等クリーニング代		771,184円	
雑費		486,935円	
合 計		79,914,564円	
	収入未済額	0円	
	うち利用料金収入分	—	

② 支出		
項 目	内 訳	金額(円)
人件費		48,691,383円
施設運営費	旅費、管理費、活動プログラム費等	10,963,068円
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	22,417,521円
企画事業費		1,976,839円
合計		84,048,811円

【点検・調査結果及び評価】

利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて管理運営に必要な支出に適切に運用されており、概ね良好である。

5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成28年4月1日～平成29年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	103団体											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		非常によい	よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答		
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
	集団生活を学ぶ場	74	71.8	22	21.4	6	5.8	1	1.0	0	0.0	0	0.0
	活動内容	66	64.1	25	24.3	10	9.7	1	1.0	0	0.0	1	1.0
	職員の受入れ対応	73	70.9	21	20.4	6	5.8	2	1.9	0	0.0	1	1.0
	職員の指導・助言	78	75.7	18	17	7	6.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	食堂スタッフの対応	62	60.2	18	17	7	6.8	1	1.0	0	0.0	15	14.6
	食事の質	47	45.6	31	30	10	9.7	2	1.9	0	0.0	13	12.6
	食事の量	52	50.5	27	26	10	9.7	0	0.0	0	0.0	14	13.6
	屋内の施設・環境	45	43.7	30	29	25	24.3	2	1.9	0	0.0	1	1.0
屋外の施設・環境	46	44.7	32	31	17	16.5	1	1.0	0	0.0	7	6.8	
また利用したいか	ぜひ			機会があれば					利用しない		無回答		
	75	72.8			27	26.2			0	0.0	1	1.0	
利用者からの意見等	特になし												
【調査結果及び評価】 調査結果では、全ての項目で「非常によい」と回答した割合が前年比で減少、特に「職員の受入れ対応」「屋内の施設・環境」の評価が低下している。熊本地震の影響も考えられるが、今後のアンケートの回答を注視し、問題点の分析及び対応が必要。 なお、食事の質については、僅かながらも「あまりよくない」との声もあるため、他施設の取組み等を参考に献立の改善や工夫を行い、利用者の要望に応じていく努力を期待する。													

6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
特記事項なし	
【調査結果及び評価】	

7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指摘事項	改善内容・結果
キャンプ場の利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・キャンプ場の草刈りやテント土台、釜戸などの環境整備を行い、利用しやすい環境づくりを心掛けた。 ・企画事業においても、テント泊を実施。
食事の質と量	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会において、アンケート結果をもとに改善に向けて話し合いを実施した。 ・メニューの大幅変更はなかったが、味付けや素材のへ変更等改善に努めた。
【調査結果及び評価】 指摘事項に対する取組は概ね評価できる。キャンプ場は通年利用にした成果も含め今後に期待するが、食事は他施設同様利用者の満足感向上に繋がる取組みを引き続き検討してほしい。	

8 その他

特になし
